

～ フェルトの袋作り (2) ～

11月3日 10:00～12:00 平和台集会所

文化の日にふさわしく「文化・技術の伝承」の2時間となりました。先月は様々な芸術的な手芸作品を生み出されているSHさんの直接のご指導、今回は先月経験れた4名の方々が習得された技術と知識を初体験の私達に伝授くださる会ともなりました。使う材料や道具は先月と同様に書き送って下さっていました。今回は手順などで若干「あら～?!何だったかしら。。。」の場面もありながらも、それが楽しく順調に完成を迎えることが出来ました。

出来上がったフェルトの袋はおよそ9.5×17.5cm、幾分か厚手となりましたが初作品に感激。

作業手順は、10×18cmの長方形のやや厚手の梱包用ポリシートを型芯として、羊毛40g(私の場合は緑20gと紫20g)を10g×4に測り分け、型芯を中心に中表に少しずつ薄く縦横互い違いに均等に重ねて型芯が羊毛で包まれたら、温かい石鹼水をかけて羊毛がフェルト化するよう撫でたり揉んだりを繰り返し、フェルト状になったところで長方形の一边をハサミで切り、型芯を取り出し、裏返して表裏の厚み誤差を揉んで直し、最後に石鹼水を洗い流して乾燥させる。

反省点は、石鹼水での揉みをもっとすべきだったこと、揉み始める前の撫でる作業が不足していたのか少し飛び出たような部分(袋の内側で問題なし)が出来てしまったことです。

毛糸のセーターなどを洗って縮むフェルト化は困りますが、羊毛の持つフェルト化の性質を生かした作品作り今後もしてみたいと思います。

カフェメニュー：アップルパイ

(斎藤光代)

